

2020年3月16日

## 新型コロナウイルスに関するムーディーズからのお知らせ

新型コロナウイルス(COVID-19)は、世界中のあらゆる業界や地域に混乱をもたらし、多くの企業に即座に対処すべき喫緊の課題を突き付けています。これを受け、当社は、市場のボラティリティや不確実性が高まる中、市場やお客さまへのサービス提供を継続するための対策を講じています。当社では、関連当局のガイドラインに則して業務プロセスを調整し、通常業務を継続しています。状況の変化に応じて、引き続き最新の分析を提供し、業務上の変更点があれば速やかにお知らせいたします。なお、新型コロナウイルスに関連したクレジットや経済への影響に関する最新のリサーチや見解については、[moodys.com/coronavirus](https://moodys.com/coronavirus) をご覧ください。

### 事業継続性

ムーディーズは、継続的に状況を注意深く監視しています。とりわけ、世界保健機関(WHO)や各国当局のガイダンスを注視しています。ムーディーズはお客さまを支援するため、今後もサービス継続に尽力し、可能な限り、通常業務を維持して参ります。

ムーディーズは、感染症・パンデミック対策に関するグローバル計画を発動しました。これは、ムーディーズの業務や従業員に影響し得る大規模もしくは致命的な健康リスクに対処することを目的に策定されたものです。

これには、業務の継続、出張制限、および在宅勤務の促進などを可能にする以下のような対策が含まれます。

- » 所属オフィスの出社が困難になった場合やアクセスが禁止された場合に、主要スタッフによる自宅やオフィス以外の場所からの業務遂行を可能にするリモートアクセス等、当社のグローバルな事業継続を支援するための対策を講じています。
- » 各国や地域において、個別の危機管理チームを編成しています。各国や地域の公衆衛生ガイドラインに則して、適宜、物理的なオフィスを閉鎖し、テクノロジーを有効にして、感染危険地域の社員がお客さまへのサポートをリモートで継続できるようにしています。
- » ムーディーズは、感染危険国における感染の規模や地理的分布などの要素を踏まえた米国の[疾病予防管理センター\(CDC\)](https://www.cdc.gov)のガイダンスに基づき、出張を制限しています。
- » 直近14日以内にムーディーズの出張規程に記載された感染危険地域を訪問したスタッフ、あるいはこれらの地域を訪問した人物、またはこれらの地域から来た人物と濃厚接触があったスタッフは、そうした訪問または接触後14日間は在宅勤務が義務付けられます。
- » ムーディーズのスタッフのうち、風邪やインフルエンザのような症状がある場合には、オフィスへの出社を禁止し、各当局のガイドラインに沿って医療機関への受診を勧告しています。
- » ムーディーズが主催する会議やミーティングについて、状況を継続的に評価しています。イベントを予定どおり開催できない場合には、別の形式での提供(日程の再調整やウェブキャストによる開催等)を検討します。
- » 直近14日以内に感染危険地域を訪れた外部関係者については、対面訪問に代わる代替的な対応を行っています。

ムーディーズの経営陣は、継続的に会議を開き、従業員、クライアント、およびパートナーの皆さまの安全と健康を確保しつつ、変化する状況に対処し、それに応じた事業の調整を行っています。